

埼玉県 荻野吟子賞

令和5年度

候補者募集



日本初の公認女性医師・荻野吟子の不屈の精神を受け継ぎ、男女共同参画の推進に尽力する個人や団体、事業所を表彰します。

応募締切 令和5年 **9月29日**(金)



■主催：埼玉県 ■共催：熊谷市

■後援：内閣府男女共同参画局、独立行政法人国立女性教育会館、(一社)埼玉県経営者協会、NHKさいたま放送局、テレビ玉、埼玉新聞社、MBS、日本女医会埼玉支部

埼玉県 荻野吟子賞

令和5年度

募集要項

対象者

● 個人・団体部門(大賞・奨励賞)

先駆的な活動などにより各分野で特に功績が著しく、今後の活躍が期待できる以下の個人又は団体

- 県内に在住（勤・学）又は県出身の個人
- 県内に所在する団体

「大賞」は特に功績が著しい個人又は団体に、「奨励賞」は各分野にチャレンジし、今後更なる活躍が期待できる個人又は団体に贈ります。

● いきいき職場部門(いきいき職場部門賞)

県内に所在し、女性の能力活用、男女の職域拡大又は仕事と子育て、家庭生活との両立支援など男女が共同して参画することができる職場づくりに積極的に取り組んでいる事業所

- ※1 公務の一環として行っている活動は対象となりません。
- ※2 表彰対象とするにふさわしくない行為等があったときは、表彰の対象としないことがあります。

応募方法

別紙様式に必要な事項を記入の上、「応募先」まで御応募ください。
応募は、郵送、FAX、E-Mailによりお願いします。
様式は、埼玉県ホームページからダウンロードすることもできます。



埼玉県荻野吟子賞



● 個人・団体部門

- 市町村、団体又は個人の推薦により行います。応募は、別紙推薦書（個人・団体部門）によります。
- ただし、推薦以外の情報提供も可とします。

● いきいき職場部門

- 市町村、団体・事業所、個人又は埼玉県地域振興センター所長（事務所長を含む）の推薦により行います。応募は別紙推薦書（いきいき職場部門）によります。
- 自薦も可とします。

募集期間

令和5年 7月15日(土)～9月29日(金) (消印有効)

応募先

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1 埼玉県県民生活部 人権・男女共同参画課 荻野吟子賞係

TEL 048-830-2921 FAX 048-830-4755

E-mail a2250-05@pref.saitama.lg.jp

選考

埼玉県荻野吟子賞選考委員会での選考を経て、知事が決定します。

表彰

令和6年2月に表彰式を行う予定です。受賞者には、賞状と記念品を贈呈します。

令和4年度 埼玉県荻野吟子賞 受賞者

※ 経歴等は原則として応募時のもの ※ 敬称略

個人・団体部門

大賞 名知 仁子 (なち さとこ)



医師。約 11 年間勤務した大学病院を辞め、平成 14 年に国境なき医師団に参加し、ミャンマー難民の支援活動に携わる。ミャンマーの人々が自立して生きられる道と一緒に創るため、平成 24 年に「NPO 法人 ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会」を設立。ミャンマーの無医村で巡回診療を行い、これまで 40,000 人以上を診察。手洗いなど保健衛生の指導や有機野菜栽培の農業指導も行っている。

令和 3 年 2 月以降、政情不安定な同国において、自身も病と闘いながら、献身的な活動を継続している。(狭山市出身)

奨励賞 村田 里依 (むらた りえ)



(株) Tao Corporation 代表取締役。狭山ケーブルテレビ(株)人事総務部長。令和 3 年 5 月(株) Tao Corporation を設立。SAITAMA Smile Women ピッチ 2021 にて「優秀賞」受賞。平成 25 年に罹患した乳がん治療の為に自身の抗がん剤治療経験を活かし、脱毛や薄毛になった方が治療をしながら仕事を継続できるよう、「長時間着用できるスーツに似合うケア帽子」を開発、販売。

自身の闘病を内外に公表しながら、がん治療と就労の両立支援への理解を深め、共生社会の実現に寄与している。

また、狭山ケーブルテレビ(株)の人事総務部長として、働き方改革・女性活躍推進にも尽力している。(狭山市在住)

いきいき職場部門 ※ 五十音順

株式会社井口一世 所沢事業所



金属部品製造販売業。男性が多い業界である製造業において、熟練の職人技や力仕事に頼らない「新しい製造業」を実践し、文系大学出身の若い女性社員も大型製造機で製造を担当するなど、性別に関わらず社員が活躍し、製造業の「3K」イメージを払拭している。

女性が使いやすいトイレや階段のステップの高さへの配慮など、事業所内の環境整備や、ジョブローテーションを行い、急な休みも他の人がカバーできる体制をつくり、男女ともに働きやすい職場としている。(所沢市)

医療法人娛生会



クリニック・介護施設。『家庭』と『仕事』、どちらも大切にするという法人の考えのもと、職員の負担軽減のために ICT、IoT を積極的に活用し、スマートフォン 1 台で業務を完結させることを目標としている。音声入力 AI アプリやオンライン会議等を導入し、全てのセクションで女性が活躍できるよう支援している。

従事する業務に関わらず資格を保有している場合には資格手当を支給。資格取得に対する奨学金制度も実施し、職員のスキルアップを支援している。

「短時間勤務」や「介護助手」といった、職員のライフステージに合わせた勤務形態が可能となっている。(小川町)

さいたま輝き荻野吟子賞 (平成 17 年度～平成 22 年度)

個人 (19 件)

- 天沼 裕子 (指揮者、作曲家)
- 高澤 英子 (藍染作家)
- 平敷 淳子 (医師)
- 宇津木妙子 (スポーツ指導者)
- 長島 房江 (人形師)
- 矢内理絵子 (女流棋士)
- 河端 静子 (埼玉県障害者協議会会長)
- 塩浦 綾子 (旅客自動車運送業経営)
- 中井 広恵 (日本女子プロ将棋協会代表理事)
- 樋口 久子 (日本女子プロゴルフ協会会長)
- 青野 輝子 (元タクシー運転手)
- 木村 弘子 (技術士)
- 山田 香織 (盆栽家)
- 相原香保留 (少年警察ボランティア)
- 島田由美子 (NPO 法人理事長)
- 白石 光江 (養豚経営者)
- 堀内 壽子 (警察犬訓練士)
- 高崎 絹子 (大学教授)
- 野村 路子 (作家)

団体 (13 件)

- SWS
- 特定非営利活動法人ふじみの国際交流センター
- 有限会社メロウド
- 特定非営利活動法人新座子育てネットワーク
- 特定非営利活動法人みんなのまち草の根ネットの会
- 上里町女性会議
- 鶴ヶ島市ひまわり会
- 特定非営利活動法人わこう子育てネットワーク
- 埼玉中小企業家同友会女性経営者クラブ・ファミ
- 結木の会 (林業)
- 社団法人 日本助産師会埼玉県支部熊谷地区
- 特定非営利活動法人 ミランクラブジャパン
- 女性問題学習グループなの花会

事業所 (12 件)

- 大宮予備校
- 株式会社埼玉りそな銀行
- 医療法人社団誠弘会 池袋病院
- 日本ビストンリング株式会社
- 生活協同組合さいたまコープ リリヴ北本
- 石坂産業株式会社
- 医療法人慈正会 丸山記念総合病院
- 医療法人 土屋小児病院
- 医療法人 顕正会 蓮田病院
- 津田工業株式会社
- 株式会社ヤオコー
- 株式会社リケン 熊谷事業所



さいたま輝き荻野吟子賞 (平成 23 年度～令和 2 年度)

きらきら輝き部門 (10 件)

- 大谷 貴子 (元全国骨髄バンク推進連絡協議会会長)
- 田部井淳子 (登山家)
- 平間 保枝 (社会起業家)
- 栗原 慶子 (林業家)
- 尾池富美子 (NPO 法人代表)
- 合同会社まのえん
- 岸田 則子 (元日本ラグビー協会女子委員長)
- 海老原夕美 (弁護士)
- 吉野 美幸 (医師)
- 岡田 磨里 (脚本家、映画監督)

さいたま輝き荻野吟子賞 (令和 2 年度・2 件)

- 竹内 舞子 (国連安保理北朝鮮制裁委員会専門パネル委員)
- 山口絵理子 (㈱マザーハウス代表)



さわやかチャレンジ部門 (18 件)

- 長谷川有貴 (大学教員(助教・博士(工学)))
- 碓井美由紀 (エンジニア)
- 金子 友紀 (人形師)
- SHIORI (フードコーディネーター)
- 貫井 香織 (農業者)
- 村上 暁子 (酒職人)
- 来栖智香子 (足袋職人)
- 鈴木 美緒 (介護・保育施設経営)
- 高橋 理子 (アーティスト)
- 廣瀬 史子 (エンジニア)
- 井原 愛子 (起業家)
- 佐藤 摩弥 (オートレーサー)
- 倉橋 香衣 (ウィルチェアラグビー選手)
- 平山 真希 (調教師)
- 石田 七瀬 (ものづくりコーディネイト会社経営)
- 吉川 由美 (ブランドアンバサダー)
- 下山せいら (宇都宮大学リサーチアドミニストレーター)
- 藤木 和子 (弁護士)

いきいき職場部門 (19 件)

- 埼玉縣信用金庫
- 社会福祉法人杏樹会
- 株式会社武蔵野銀行
- 社会福祉法人熊谷福祉会
- 株式会社コマーム
- 株式会社クリタエイムデリカ
- 松坂屋建材株式会社
- 株式会社ピックルスコーポレーション
- 増木工業株式会社
- AGS株式会社
- リコーインダストリー株式会社埼玉事業所
- 愛和グループ
- 株式会社システムインテグレータ
- 株式会社キャストック
- ハスクバーナ・ゼノア株式会社
- 田部井建設株式会社
- 戸田中央医科グループ
- 株式会社 ISP アカデミー
- ケイアイスター不動産株式会社

埼玉県荻野吟子賞 (令和 3 年度)

個人・団体部門 (3 件)

- 大賞** ● 佐藤麻里子 ((有)佐藤酒造店社氏)
- サイタマ・レディース経営者クラブ (女性経営者異業種交流団体)
- 奨励賞** ● 山守 瑠奈 (京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所 助教)

いきいき職場部門 (2 件)

- 有限会社福祉ネットワークさくら
- 株式会社矢口造園



受賞者一覽

※ 改称略
経歴等は原則として応募時のもの



荻野吟子肖像画
熊谷市立図書館所蔵

おぎのぎんこ
荻野 吟子 プロフィール

江戸時代末期の嘉永 4 年 (1851 年)、現熊谷市依瀬に生まれました。17 歳になる年に結婚しましたが、不慮の病に侵され 2 年ほどで協議離婚しました。この時、男性医師から婦人科の治療を受けたことで、女性医師の必要性を痛感し、医師となることを決意しました。しかし、当時、女性には医術開業試験の受験が認められておらず、制度改正に奔走しました。その際、「令義解」という古文書に女医の記述があることを訴えたとされています。この「令義解」を校訂し、後世に引き継いだのが埼玉の偉人塙保己一でした。こうして吟子は様々な困難を克服し、明治 18 年 (1885 年)、医術開業試験に合格、日本で最初の公認女性医師となりました。開業後は、診療活動に加え、婦人解放運動等の社会的活動も担い、女性の地位向上や衛生知識の普及にも大きく貢献しました。大正 2 年 (1913 年)、62 歳で永眠し、栄光と波乱に満ちた生涯を閉じました。

表紙イラスト：埼玉県立熊谷女子高等学校漫画愛好会

※ 荻野吟子マンガ PR 冊子を埼玉県立熊谷女子高等学校漫画愛好会の協力により作成しました。
※ 熊谷市立荻野吟子記念館では、荻野吟子に関する資料を展示しています。

埼玉県荻野吟子

音声コード
(Uni-Voice)

スマートフォン等を利用し、
情報を音声で聞くことができます。

